

外国にルーツがある人々への支援活動応援助成第3回 活動報告

中央共同募金会様から新型コロナウイルス感染下における外国にルーツがある人々への支援活動応援助成をいただき ラテンアメリカ系住民集住地区における身体とこころの無料相談会の開催は3年間継続してきました。第三回にあたる本年度は東海地区における現地相談会7回、関東地区4回に加えて、毎月のオンライン相談会と新型コロナに関する感染症後遺症についてのセミナーを毎月実施しました。

私たちの活動のきっかけは、東海地区にはラテンアメリカ系住民が多いが、医療や精神の相談ができる場所がないので、安心して地域で暮らせるように、医療の専門家集団と繋がりたいという地域のNPO

の希望で、MAIKENの南米感染症の専門家、ブラジルの医師、精神科医、心理士、医療通訳がチームを組み、現地での無料の医療相談会を開始しました。

3年に渡り継続して活動してきたことで、現在マイケンの活動は広くコミュニティに知られるようになり、ぜひ自分達の住んでいる地域でも開催して欲しいという要望が多く、今年度は近隣の市でも開催をしました。

新型コロナウイルスが猛威をふるったこの3年の間に立場の弱い外国籍住民労働者が真っ先に派遣切りにあい仕事を失ったことで、家庭内での不協和が増加し精神的・経済的に追い詰められている方々からの相談が毎日のように寄せられました。

当初は鈴鹿亀山地区での身体とこころの相談会を開催しましたが、近隣の市の会場まで行く交通費がなかったり、通勤できるギリギリの量でガソリンをギリギリで入れているため相談会に行くと仕事に行けなくなってしまう等と悲痛なメッセージが届き、また子供の面倒を見てくれる人がいないので行けないと切実な状況があり、今年度は開催地の範囲を広げたことで、これまで参加できなかった方が来場しやすくなりました。

少しずつ外国籍住民のためのメンタルヘルスケアができる場が地域に広がりつつありますが、狭いコミュニティの中で通訳が顔みしりでコミュニティに相談内容を知られてしまいうのではないかと心配する方も多く、地縁のない東京からチームで支援のできるMAIKENへの期待は非常に大きく、地域に欠かせない支援となっています。

今年度は、これまで相談をしていたが自分は良くなってきたので他の人に相談時間を譲りたい、今度は自分が同胞を助ける側にまわりたいとボランティアを申し出て下さる方も多く、コミュニティのキーパーソンとなる方が確実に増えている事を実感できた年でした。

母国語で医療相談は毎回15人を超える相談者が訪れ、特に病院にかかっている方からの相談



は日本の病院で内容がわからないまま治療や手術を受けている方も多く、母国語で相談できたことで初めて自分の受けた治療について理解する方が多いという、外国人の抱える問題が浮き彫りになりました。

日本に長年住んでいる方は日常会話には不自由がなくても日本語の読み書きは難しい人が多く、医師から説明される専門用語がわかっていなくても、分かるところだけを聞いて「はい。大丈夫」と言ってしまうがちです。実際は理解が不十分でも「はい。大丈夫」と答えているため話が進んで後程問題が生じることも多くあります。日本人支援者側はこの「はい大丈夫」がとりあえず言っているだけではないのか、本当に理解してもらっているか、この言葉が出た時は気をつける必要があります。

また外国籍住民にも、わからない時は優しい日本語で説明してもらうように再度お願いをし、安易に「はい大丈夫」使わないようにと伝えています。通訳を家族や友人に頼んでいる方も多いですが、専門用語を十分に訳せなかったり、日本の医療費の助成などシステムを知らないかったりするために十分に訳せない事も多く、研修を積んだ医療通訳の配置を行政機関に求める必要性があります。

特に今年度は、これまで支援に繋がり難く声を上げない人を支援に繋げる事を目的に活動してきました。

相談に行く事を躊躇したり、日本人の偉い人は怖くて話せない、行政に家庭内の状況を全部把握されてしまうのでは、など様々な不安から表に出てこなかった人達の参加を促すため、イベントホールと会議室を借りて食料支援や無料のバザー、子供達への母国でのお祭りのイベント、和食の料理教室など、参加を促す工夫を取り組みました。和気藹々とした雰囲気の中、問題を抱えていそうな方に個別に声がけをし、「日本の先生もブラジル先生も怖くないから少しだけでもお話しをしてみない？東京から来ている通訳もいるし話した事は絶対に他の人には言わないよ」と相談に踏み出すハードルを下げ専門家の支援に繋げる第一歩となりました。

イベントに来場した日本人の方は、自分たちの住んでいる地域にこんなにたくさんの外国人がいるんだと驚きの声を上げていて、交流イベントを通じて外国籍住民が見えない存在から見える隣人となるきっかけともなり地域にとって非常に意義のある会となりました

5月14日 愛知県犬山市相談会 NPO シェイクハンズと協働開催 寺子屋会場



地域に住む生活者としての困りごとの相談や子どもの教育・日本語教室の紹介等にも踏み込み、相談が多く、南米系住民のネットワークづくりを意識して交流タイムを設けました。ブラジル人医師の存在が、相談者には心強く相談が多くありました。糖尿病の診断を受けた人が、母国とは違う暮らし・食べ物の中での発病をとっても不安に思っていて日本での生活や食べ物について積極的に聞いていました。心の相談では子どもの事、発達の事を涙を流して相談していた家族もあり、1年に一度でも母国語で相談が出来る場が必要だと感じています。

待ち時間を利用しての交流タイムでは、特に入国して間もない1年未満の家族が、互いに顔見知りになり情報共有し日常的にも行き来できるようにサポートをする場となりました。

東海地区と三重県内における相談会の様子

Que este momento seja guardado no coração de todos em nome do SuzuKame Amigos a todas as pessoas que tanto fizeram para que conseguíssemos chegar até aqui! Foi um dia super especial!

Aos Medicos e Colaboradores com Carinho

"Os nossos mais sinceros e profundos agradecimentos pelos grandiosos esforços e dedicacoes incansaveis sem poupar a propria vida e tambem aqueles que se foram cumprindo a sua sublime missao"

2022年12月4日
鈴亀アミーゴスバザーと
NPO MAIKENの無料健康相談会 とシャガス病の検査

BAZAR BENEFICENTE
MAIKEN
NONPROFIT ORGANIZATION

SuzuKame Amigos

新型コロナウイルス感染症下における
外国にルーツがある人々への支援活動応援助成

CONSULTA GRATUITA SOBRE A SAÚDE FÍSICA E TESTE RÁPIDO PARA A DOENÇA DE CHAGAS
* Teste de Chagas é gratuito, não necessita de reserva!
ラテンアメリカ系住民のための体科健康相談会 ・ シャガス病の検査
Local: Restaurante Recanto Mineiro
Tsu shi - Tarumi 609-1
レカントミネイロ 津市 垂水609-1

Informação e reservas: (予約・お問い合わせ)
Facebook Suzukame Amigos
Facebook NPO MAIKEN

MAIKEN
NONPROFIT ORGANIZATION
NPO法人 MAIKEN

東海地区医療関係者と外国籍住民を繋ぐための、専門家によるワークショップと相談会・シャガス病検査

2023年8月20日(日)
10:30~16:00
アスト津3階 (みえ市民活動ボランティアセンター内)
三重県津市羽所町 700(津駅東口)

～外国籍住民と共生する地域づくり～
3年にわたる東海地区での「無料のこころと身体」の無料相談会を開催し、外国籍住民が本当に求める医療についてのワークショップを開催します。
▶実は言葉の壁はより大きい問題となる「文化の違いの壁」は？
▶その説明は本当に伝わっている？「はい」という言葉に安心していない？
▶通訳を使っても、やさしい日本語で話す方が伝わる理由は？通訳のメリットとデメリットとは？
外国籍住民の気持ちを面に知ること、相互理解を深めることを目的としています

▶10:30～MAIKEN 理事長三浦友子氏
外国籍住民のための医療相談会の必要性と東海地域におけるシャガス病の実態
▶11:00 MAIKEN 医師 George Ito/日本とブラジルの文化や医療に対する考え方の違いとは
▶現地医療者からの声
鈴鹿医療科学大学 感染症 教授 名笠市立病院 内科 医師 太田 健光 先生
食中毒予防に関する情報提供
その他：在日ラテンアメリカ人受け入れについての現地医療者の声

12:00～ 外国籍住民と医療関係者の懇談会(昼食会) (*先着20名までお弁当のご用意があります。ご希望の方は Suzukame Amigos までご連絡ください) 090-1235-1647

お問い合わせ
Suzukame Amigos 井伊サントラ
NPO MAIKEN 三浦友子氏
東京都八王子市八王子町 2-1935-7

2023-8-20
UST TSU - TSU

SuzuKame

EVENTO REALIZADO : NPO MAIKEN E SUZUKAME AMIGOS

- ◆三重津市 2022 年 9 月 4 日・2023 年 8 月 20 日
- ◆三重県亀山市 2022 年 6 月 25 日・2023 年 9 月 17 日
- ◆静岡県浜松市 2022 年 9 月 4 日静岡県浜松市
- ◆静岡県菊川市 2023 年 4 月 30 日静岡県菊川市

無料の食料配布のために来場する方が多くいましたが、その中で問題を抱えていそうな方に個別に積極的に声掛けをし、専門家に話すきっかけとなりました。一言挨拶や医師や精神科医などの顔が見える支援をすることで、当日は一言二言話すだけでも、オンラインでの相談や次回の相談会への参加を予約するケースもあり、辛い気持ちを吐き出して生きるのが少し楽になるようなきっかけ作りができました。地域の NPO は行政やコミュニティと密接に繋がっているため、プライバシーを守りたいという気持ちや関係性を壊したくなく相談できないケースが往々にあり、地域に地縁のない MAIKEN の専門家集団や通訳が必要とされています。

また今回初めて開催をした、和食講座は 40 名以上を超える申し込みがありキャンセル待ちが出るほど人気となりました。日本に長年暮らしていても、和食の作り方を学んだことがないためフードパントリーでもらった味噌やだし昆布など使い方が分からないという方が非常に多いのです。今回、顆粒のだしを使い味噌汁や、味噌を使った野菜料理などを参加者全員で作りました。顆粒だしのパックの写真を撮って、スーパーで買うと笑顔で帰宅する方や、早速作ったと写真を送ってきた方々もいて、この企画は今後も継続したいと思っています。

今回の相談会の中で、一つ強い印象に残った出来事がありました。前年度の医療相談会に参加していた工場の事故で障害を負い労災で慎ましく暮らしている方が、ご本人も困窮しているにも関わらず一年間 1 円 2 円と少しずつためたお金を同胞を助ける活動に使って欲しいと寄付してくれました。1 円玉の詰まった袋に込められた思いは計り知れないほど重く、私たちの活動はご寄付頂いた皆様の優しい気持ちの上に成り立っているのだと、身を正す思いでいっぱいです。沢山の皆さまの思いを頂いた、中央共同募金会様からの外国にルーツがある人々への支援活動応援助成金を頂き活動を続けられたことに心からの感謝を申し上げ、今後も努力をしてみたいです。